

木の回し絵ゴマ

プログラムの概要・ねらい

自然の素材を使って回し絵を作る。

自然の素材を使うことでひとつひとつの木目、香り、手触りなどの違いを感じ、自然との関わりを持つ。また、ノコギリやボール盤の使い方を覚え、自分だけのオリジナル作品を作ることで、創意工夫する楽しさを体験する。

※ノコギリを使って間伐材（丸太）を切る作業あり。

場所	クラフト室		
時間	1時間30分～2時間		
値段	料金表参照		
季節	年間	人数	クラフト室 席数 48
準備物	【利用者】ぞうきん、新聞紙、活動に適した服装 救急用品、ポスカ 【自然の家】材料（間伐材、タコ糸）、万力、マジカルサンダー、ハサミ、ノコギリ、ボール盤、ベルトサンダー		

①準備

材料とクラフト室倉庫の鍵をサービスセンター受付で受け取る。※材料数を確認する。

窓を開け、部屋の換気を十分に行う。工具の確認をする。

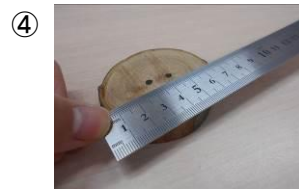
電動工具、焼き印を使用する場合は、事前に指導者がスタッフから使用法について説明を受ける。

②実施の流れ

【時間】

- 0:00 説明
- 0:20 材料の間伐材（直径5cm程度）を万力に固定し、ノコギリで厚さ1～1.5cm程度に輪切りにする。（写真①）
- 0:40 切った木の切断面をマジカルサンダーでよく磨く。
※マジックテープが付いている面にヤスリを貼付け使用する。
荒削り用（濃茶色）→仕上げ用（薄茶色）（写真②）
- 1:00 子どもの使用状況により、早く削るためベルトサンダーを使用する。（写真③）
ベルトサンダーを使用する場合は必ず指導者が立ち会い、以下の点に注意する。
※削る際は、機械の横に立って作業をする。
※袖口、ストラップ等の巻き込みに十分注意する。
※1台につき二人同時に作業は行わない。
- 1:10 表面が滑らかになったら、ボール盤で紐を通す穴（サイズ3.5mm）を中央部分に2つ開ける。（両穴の間隔は1cm程度）（写真④）
ボール盤を使用する場合は必ず指導者が立ち会い、以下の点に注意をする。
※穴を開ける位置を確認してから、電源を入れる。
※袖口、ストラップ等の巻き込みに十分注意する。
- 1:30 表面にポスカで絵や文字を書く。
※ポスカを使用する場合は、机の上に新聞紙を敷く。

希望者は裏面に少年自然の家の焼き印を押す。
※焼き印の取り扱いに注意し、やけどに気を付ける。
※焼き印は温まるまでに約15分かかるので、事前にスイッチを入れておく。
- 1:50 タコ糸を準備し80～90cmほどにはさみで切る。
タコ糸を木材の穴の中に通し結び目を作る。（写真⑤）
- 2:00 完成・片付け



③後片付け

工具等を元へ戻し、電動工具のコンセントを抜く。

雑巾と備え付けの掃除用具を使い、掃除をする。**※机と床の水拭きを必ず行う。**

(掃除の仕方についてはクラフト室の掲示参照)

工具、部屋等の破損があった場合は、サービスセンター受付へ申し出る。

クラフト室倉庫の鍵、余った材料はサービスセンター受付へ返却する。